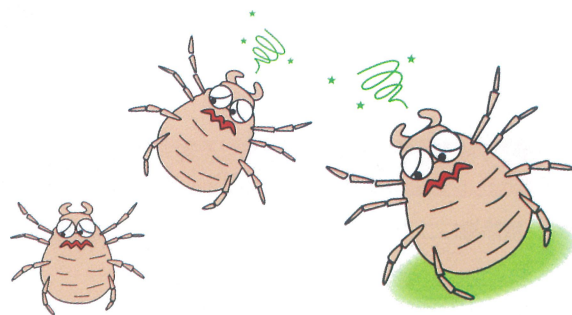


「学校環境衛生基準」準拠商品

Mitey Checker[®]

ダニ検査用マイティチェッカー[®]は

簡単・確実な 簡易検査キット



学校内のダニ・ダニアレルギー検査に!

文部科学省の「学校環境衛生基準」が平成21年4月に改訂、施行され、ダニまたはダニアレルギーを年1回定期的に検査することが義務づけられました。ダニ検査用マイティチェッカー[®]は、「学校環境衛生基準」に則した準拠商品で、誰でも簡単・確実にダニアレルギーの検出・判定が行える検査キットです。

年に1度の定期的なダニチェックが義務化されました。

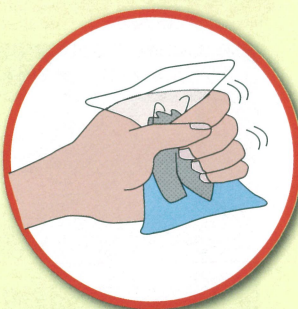
簡単!!
4ステップ

STEP1



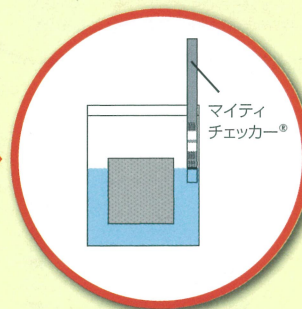
ゴミをとって

STEP2



1分間揉んで

STEP3



3秒間浸けて

STEP4



10分間待つだけ

学校環境衛生基準(一部抜粋)

検査項目:ダニ又はダニアレルギー

検査方法:湿度及び温度が高い時期に、ダニの発生しやすい場所(保健室の寝具、カーペット敷きの教室など)において1㎡を電気掃除機で1分間吸引し、ダニを捕集する。捕集したダニは顕微鏡で計数するか、アレルギーを抽出し、酸素免疫測定法によりアレルギー量を測定する。尚、これらと相関の高い方法によって行う事もできる。

基準:100匹/㎡以下又はこれと同等のアレルギー量以下であること。

検査回数:毎学年1回定期的に検査を行うものとする。



ダニ検査用マイティチェッカー[®](5テスト入り)

- ①マイティチェッカー[®] …… 5本
- ②ゴミ取り袋 …… 5枚
- ③チャック付ビニール袋 …… 5枚
- ④抽出液 …… 5本
- ⑤取扱説明書(判定用色見本) …… 1枚

●2テスト入りもあります。

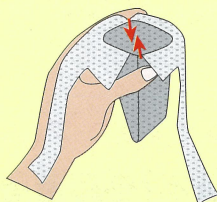
使用方法

STEP1 掃除機でゴミを採取します



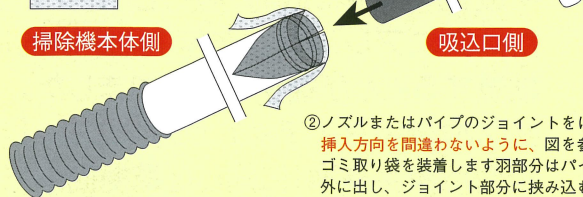
掃除機にゴミ取り袋をセットし、約1㎡を1分間吸引します

ゴミ取り袋



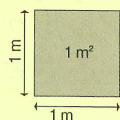
①図のようにゴミ取り袋を円筒状にします

掃除機本体側



吸込口側

②ノズルまたはパイプのジョイントをはずし、挿入方向を間違わないように、図を参考にゴミ取り袋を装着します羽部分はパイプの外に出し、ジョイント部分に挟み込むように装着します。



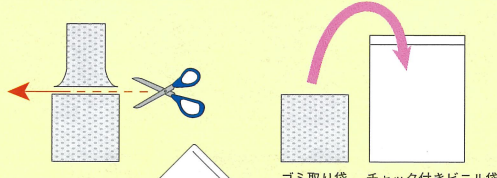
③掃除機で、約1㎡（タタミ半帖が目安です）を1分間吸引します

STEP2 アレルゲンを抽出します



抽出液を作ってゴミ取り袋を浸し、アレルゲンを抽出します

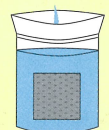
①ゴミ取り袋を図のように切り取り、下半分をチャック付きビニール袋に入れます



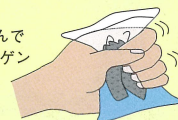
ゴミ取り袋 チャック付きビニール袋

抽出液

②抽出液全量をゴミ取り袋を入れたチャック付きビニール袋に入れチャックを閉めます

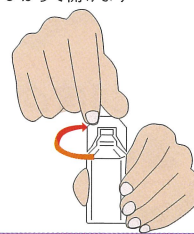


③約1分間手でよく揉んで下さい（ダニアレルゲンの抽出）

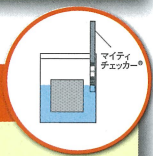


ワンポイントアドバイス!

抽出液はフタと本体を持ち、ひねって開けます

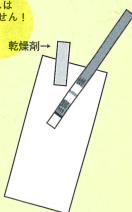


STEP3 アレルゲンを検出します

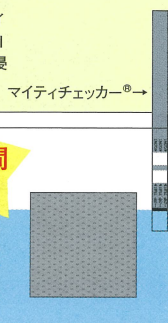


マイティチェッカー®を取りだし、抽出液に浸けます

これは使いません!



②抽出した液に直接マイティチェッカー®のDIPラインまで3秒間浸漬します



3秒間浸漬

①アルミラミネート袋を開封し、スティックを取り出します（同封の乾燥剤は検査には使いません）

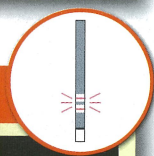
③マイティチェッカー®をアルミラミネート袋等の上に水平に置き、判定まで10分間待ちます

水平に置き

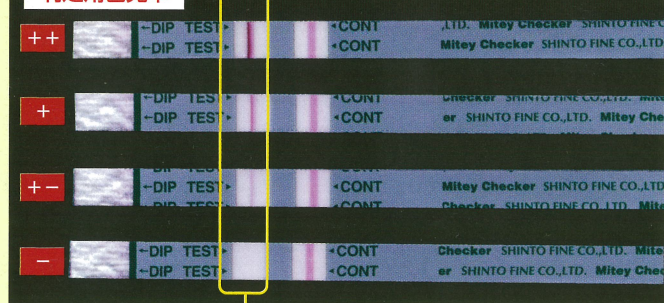


10分間待つ

STEP4 ダニアレルゲンレベルを判定します



判定用色見本



マイティチェッカー®の判定基準

判定	判定の目安	ダニアレルゲンレベル
++	ハッキリとしたライン	>35μg (>350匹)/㎡
+	ラインであることが確認できる	10μg (100匹)/㎡
+ -	うっすらと発色しているのがわかる	5μg (50匹)/㎡
-	全く発色していない	<1μg (<10匹)/㎡

ここでチェック

文部科学省の判定基準は「ダニ数は100匹/㎡以下、又はこれと同等のアレルゲン量以下であること」となっています。マイティチェッカー®の「+」以下なら基準内であることがわかります。

*: 数値は、粗抗原(ダニ抽出物)量です。ダニ(ヒョウヒダニ)匹数は、目安として記載しています。

マイティチェッカー®の測定原理

ダニアレルギーの臨床分野において主要アレルゲン(メジャーアレルゲン)の一つであるDer2*1(Derf2とDelp2の両方)と特異的に反応するモノクローナル抗体を用いた水平展開クロマト方式*2によって、ハウスダストの抽出液中に含まれるダニアレルゲンレベルを発色程度で表示します。

*1. Der2とは、ヒョウヒダニ虫体由来のアレルゲンです。

*2. 水平展開クロマト方式とは、酵素免疫測定法(ELISA)を基に改良を加えて発展させた測定法です。

酵素免疫測定法との相関

マイティチェッカー®による検査方法と酵素免疫測定法の相関を調べた結果、相関係数は、 $r=0.83$ と非常に高い値を示した。

よってマイティチェッカー®は学校環境衛生の基準で求められた測定方法に使用できる。

(出典:「ダニアレルゲン簡易検査法の有用性に関する研究」学校保健研究 第44巻 第4号)